



～ 7 月は日本肝炎デー & 肝臓週間～

正しい知識・検診受診が 沈黙の臓器を守ります

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220



肝臓の働き

肝臓は、人間の体内で最も大きい臓器であり、右の肋骨の下に位置しています。その役割は多岐にわたり、消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変えたり、毒物を分解したり、体内の物質のバランスを維持したりするなど、生命を支える上で重要なはたらきを担っています。



知らぬ間に悪化、肝臓の病気

日本では、年間約 2 万 5000 人が肝臓がんによって亡くなっており、その原因の約 80% が肝炎ウイルスと言われています。また、日本の B 型・C 型肝炎ウイルスの患者・感染者数は、合わせて 300 万人以上とも推定されます。

このように、肝炎は、国内最大の感染症と言われるほど「身近な」病気です。しかし、肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれており、ウイルスに感染していても、自覚症状がないまま病気が進行することがあります。B 型・C 型肝炎ウイルスに感染すると、肝臓の細胞を破壊し、慢性肝炎（常に肝臓で炎症が起きている状態）になる可能性が高く、

そこから、肝硬変や肝臓がんへ進行することもあります。



肝炎ウイルス検診を受けるべき？

B 型または C 型肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、検診（血液検査）をしなければ分かりません。

ウイルス性肝炎は、さまざまな治療法が研究・開発されています。もし、肝炎ウイルスに感染していても、早期に適切な治療を行うことで、肝炎を治癒し、あるいは、悪化を予防することが可能です。



日本肝炎デーと肝臓週間

7 月 28 日は「世界肝炎デー」（日本では「日本肝炎デー」）、また同月 22 日～28 日は「肝臓週間」です。期間にあわせ重点的に、肝炎の正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検診の受診を促進しています。

この機会に肝炎について学び、検診を受けてみませんか。

令和 6 年度安来市肝炎ウイルス検診を実施します

期間 7 月 1 日(月)～令和 7 年 2 月 28 日(金)

対象 昭和 60 年 3 月 31 日以前に生まれ、過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

受診方法 委託医療機関または集団健診（特定健診・後期高齢者健診）で実施するミニドック、特定健診、後期高齢者健診にあわせて受診

受診を希望する人は、健診を受ける前に、いきいき健康課（☎ 23-3220）へお申し込みください。対象者であることが確認されると「肝炎ウイルス検診記録票」が届きます。

記録票が届いたら、医療機関へお申し込みください。

料金 無料

検査方法 血液検査

受診できる医療機関など詳細については、「令和 6 年度健診のしおり」（広報やすぎ 6 月号と一緒に配布）の 9 ページをご覧ください。

